

NHK交響楽団 年表 1926–2025

中村洪介・西村理 [編]

分冊③：1946–1955

- * 本年表はNHK交響楽団関連項目、社会および音楽界のおもな出来事の2欄にわけて構成している
- * 1926–1986年の年表は中村洪介による（『NHK交響楽団五十年史』『NHK交響楽団六十年史』の年表をもとに編集）
- * 1987–2025年の年表は西村理による

主要参考文献

- 『曲目と解説』『フィルハーモニー・パンフレット』『音楽雑誌フィルハーモニー』『日本交響楽団誌』『フィルハーモニー』
『近代日本総合年表』（岩波書店、1968）
『朝日年鑑』（朝日新聞社）、『毎日年鑑』（毎日新聞社）、『読売年鑑』（読売新聞社）
『NHK年鑑』（日本放送出版協会）
『音楽年鑑』（音楽之友社）
『音楽之友社25年のあゆみ』（音楽之友社、1966）
『放送50年史 資料編』（日本放送協会、1977）
『日本メディア史年表』（土屋礼子編、吉川弘文館、2018）
『20世紀放送史』（日本放送協会編、日本放送出版協会、2001）
『NHK放送100年史』（NHK編、NHK出版、2025）
M. E. Cullen: *Memorable Days in Music* (The Scarecrow Press Inc., 1970)
Baker's Biographical Dictionary of Musicians (G. Schirmer, 1971)
Riemann Musik Lexikon, Ergänzungsband Personenteil (Schott's Söhne, 1972)

オンラインデータベース

「朝日新聞クロスサーチ」（朝日新聞）、「毎策」（毎日新聞）、「ヨミダス」（読売新聞）、「サントリーホール公演アーカイブ」（サントリーホール）

制作：公益財団法人 NHK交響楽団
©NHK Symphony Orchestra, Tokyo, 2025
編集協力：株式会社アルテスパブリッシング

1946		
昭和21年		
1946年1月1日		天皇、神格化否定の詔書
1946年1月10日		国連第1回総会ロンドンで開かれる
1946年1月12日		野坂参三、中国延安から帰国
1946年1月30日		河上肇（経済学）没
1946年2月	この月から毎週日曜日に進駐軍将兵のための演奏会を開催	
1946年2月11日		日本合唱連盟結成式
1946年2月14・15日	第272回定期公演にアメリカ軍将校アーサー・レッサー少佐、軍服着用でショパン《ピアノ協奏曲第1番》を演奏	
1946年3月4日		日本放送協会、コール・サインNHKを用いて初放送
1946年3月5日		チャーチル「鉄のカーテン」演説を行う。3月13日、スターリン、「チャーチルは戦争挑発者」と語る
1946年3月10日		高崎市民オーケストラ創立。のちに群馬フィルハーモニー→群馬交響楽団と改称
1946年5月3日		極東国際軍事裁判所開廷
1946年5月8日		メノッティ《壺媒》コロンビア大学で世界初演
1946年5月11日		ミラノのスカラ座再開
1946年5月14日		東宝交響楽団第1回公演。指揮上田仁
1946年5月25日		日本現代音楽協会結成（日本作曲家連盟の復活）。第1回現代楽曲発表会
1946年5月26日		三浦環（ソプラノ）没
1946年6月14日		幸田延（ピアノ、ヴァイオリン）没
1946年7月	1943（昭和18）年10月以来休刊の『日本交響楽団誌』を『音楽雑誌フィルハーモニー』と改題して復刊	
1946年7月12日		ブリテン《ルクリーシア》グラインドボーンで世界初演
1946年8月9〜30日		小牧正英帰国第1回振付《白鳥の湖》を東京バレエ団が上演
1946年9月	予約会員制復活。A会員券10円、B会員券8円、臨時A会員券12円、同B会員券10円。これらは戦後インフレーションのため、5年後に25倍の値上がりみせる	
1946年9月5日〜10月29日		第1回芸術祭（文部省芸術課長今日出海提唱）
1946年9月19・20日	第279回定期公演。指揮ジョセフ・ローゼンストック、ローゼンストックはこの後1951（昭和26）年5月までアメリカに滞在（臨時演奏会の最後の指揮は10月15・16日）	
1946年11月3日		日本国憲法公布。翌年5月3日施行
1946年11月14日		マヌエル・デ・ファリャ（作曲）没
1946年11月22日		日本橋の三越ホール（三越劇場）開場。歌舞伎、新劇、音楽などを上演
1946年12月5日		樺太引揚第1船函館入港。12月8日シベリア引揚第1船舞鶴入港
1946年12月14日		国連総会軍縮憲章を可決
1946年12月18・19日	日響20周年記念演奏会。ベートーヴェン・プログラム。指揮近衛秀麿	

1947		
昭和22年		
1947年1月1日		吉田茂首相、年頭の辞の放送で一部労働運動指導者を「不ていのやから」と非難、問題化
1947年1月23日	第283回定期公演を1日に2回行う。昼の公演中発電所の故障で10回近く停電、その度に演奏は中断されたが、最後に至って独奏者クロイツァーは暗闇の中でシューマン《ピアノ協奏曲》を弾き続け、点灯と同時に楽員もそれに和し楽壇の話題となる	
1947年1月31日		マッカーサー、「2.1」ゼネストに対し中止命令、声明発表
1947年2月18日		メノッティ《電話》ニューヨークで世界初演
1947年3月25日		有楽町のスバル座、米国映画のロードショー劇場として開場。第1回上映ガーシュウィン《ラプソディ・イン・ブルー》（アメリカ交響楽）。入場料25円
1947年3月28・29日	第1回オペラ・コンサート。モーツァルト《フィガロの結婚》。指揮近衛秀麿	
1947年4月1日		秋元清一（雅一郎）第1回独唱会
1947年4月2日		東宝音楽協会主催。ガーシュウィン没後10年祭記念音楽会。指揮ステュアート大尉。独奏平田美知ほか
1947年4月14日		独占禁止法公布
1947年4月15日	シューベルト生誕150年祭名曲の午後。日響室内楽団出演	
1947年4月22日		関西交響楽団第1回演奏会。指揮朝比奈隆
1947年5月3日		日本国憲法施行
1947年6月20日		ブリテン《アルバート・ヘリング》グラインドボーンで世界初演
1947年7月12日〜8月3日		藤原歌劇団、ワーグナー《タンホイザー》を日本初演
1947年7月21日		今井慶松（箏曲）没
1947年9月4〜8日		長門美保歌劇研究所、ウェーバー《魔弾の射手》日本初演
1947年9月20日	ブラームス没後50年記念演奏会	
1947年10月4日		NHK、『土曜コンサート』放送開始。11月7日『邦楽名曲選』開始
1947年10月27日	古垣鐵郎理事長に就任。1956（昭和31）年6月25日まで在任	
1947年10月28日		東宝交響楽団第1回定期演奏会。指揮近衛秀麿
1947年11月1日		東京フィルハーモニー交響楽団メンデルスゾーン没後100年記念演奏会。指揮金子登
1947年11月4日	メンデルスゾーン没後100年記念演奏会	
1947年11月8日	レオニード・クロイツァー特別演奏会に出演	
1947年11月18・19日	第291回定期公演。ビゼー《カルメン》全曲上演。指揮高田信一。独唱川崎静子、三宅春恵、柴田睦陸、中山梯一、石津憲一ら	
1947年12月12日		新作曲派協会第1回作品発表会
1947年12月17日		東フィル、ブラームス没後50年記念演奏会
1947年12月30日		横光利一（小説）没

	N	響	社会・音楽界
1948	昭和23年		
	1948年1月29日～2月3日		長門美保歌劇研究所、サリヴァン《ミカド》を日本初演
	1948年1月30日		ガンジー暗殺される。79歳
	1948年2月21日		ソ連共産党中央委員会、『ブラウダ』紙上でミヤスコフスキー、プロコフィエフ、ショスタコーヴィチ、ハチャトゥリヤン、シャポーリン、ボボフ、ムラデリの7名を反民主主義的作曲活動を行っていると批判、決議文発表
	1948年2月24・25日	第294回定期公演でダグラス・ムーア《田園曲》を日本初演。指揮尾高尚忠	
	1948年3月9日		宝響、ショスタコーヴィチ《交響曲第9番》を日本初演。指揮上田仁。11月19日同《第8番》を日本初演
	1948年3月25日		真山青果（劇作家、小説）没
	1948年4月1日		ソ連、ベルリンの陸上輸送規制を強化。ベルリン封鎖始まる
	1948年4月5日		宝響、プロコフィエフ《ピーターと狼》を日本初演。指揮近衛秀麿
	1948年4月13・14日	第296回定期公演。ヴァイオリン独奏者に、この年東京音楽学校を卒業した江藤俊哉を起用	
	1948年4月29日		藤原義江、日本芸術院賞を受賞
	1948年5月11・12日	第297回定期公演。ピアノ独奏者に、この年東京音楽学校を卒業した園田高弘を起用	
	1948年5月23日		美濃部達吉（法学）没
	1948年6月11日		ネトケ・レーヴェ滞日25年記念音楽会
	1948年6月13日		太宰治、玉川上水で愛人と入水自殺
	1948年6月18日		江藤俊哉第1回ヴァイオリン独奏会
	1948年6月20日		ミュンヘンの非ナチ化裁判所、R.シュトラウスを戦犯容疑無罪と決定
	1948年6月21日		園田高弘第1回ピアノ独奏会
	1948年6月21日		アメリカ・コロムビアとCBSの共同研究の結果長時間レコード（LP）が完成、発表
	1948年6月28日	『日響演奏会』に江藤俊哉、園田高弘揃って出演	
1948年7月17日		大韓民国憲法公布。8月13日大韓民国樹立の宣布式挙行	
1948年8月17日		近衛秀麿、芸術院会員に選ばれる	
1948年9月	この月以後「青少年シンフォニー・コンサート」を継続的に行う		
1948年9月9日		朝鮮民主主義人民共和国樹立	
1948年10月2日		井口基成、齋藤秀雄、吉田秀和ら子供のための音楽教室開設	
1948年10月16～20日		林謙三ら奈良時代の音楽を再現	
1948年10月18・19日	第300回定期公演。ブルックナー《交響曲第7番》を日本初演。指揮尾高尚忠		
1948年10月24日		フランツ・レハール（作曲）没	
1948年10月27・28日	音楽教育70年記念演奏会に出演		
1948年11月5日	3大協奏曲の夕。毎日音楽コンクール入賞者3人とピアノ協奏曲を協演。独奏坂本陽子、石浜和子、伊東昭子		
1948年11月23日		第1回全日本合唱コンクール開催	
1948年11月25日	邦人作品演奏会。團伊玖磨、尾高尚忠、高田信一の作品を演奏。指揮尾高尚忠		
1949	昭和24年		
	1949年1月4日		NHK『大作曲家の時間』放送開始。1965（昭和40）年4月4日まで続く
	1949年1月27日		7代松本幸四郎（歌舞伎）没
	1949年1月28日		ユネスコに国際音楽会議発足
	1949年2月6日	現代アメリカ音楽の夕。ロイ・ハリス、ジョージ・ガーシュウインの作品を演奏。指揮高田信一。独奏園田高弘	
	1949年2月7日	日比野愛次、亀井俊一、滝川広、常松之後による「日比野クワルテット」第1回演奏会	
	1949年2月7日		長門美保歌劇研究所、メノッティ《泥棒とオールド・ミス》を日本初演
	1949年2月14・15日	第304回定期公演でショスタコーヴィチ《交響曲第5番》を日本初演。指揮山田和男	
	1949年2月21日		武蔵野音楽学校、大学に昇格
	1949年3月7日		ドッジ公使、内外記者団会見で経済安定9原則実行を声明（ドッジ・ライン）
	1949年3月8日		仏、ベトナム間に協定調印。6月14日ベトナム国家成立
	1949年4月4日		早川彌左衛門（指揮）没
	1949年4月6日		第1回伊庭歌劇賞、藤原義江、三林亮太郎に決定
	1949年4月14日		地人会第1回作品発表会（安部幸明、高田三郎、貴島清彦、平尾貴四男ら）
	1949年4月15日		沢崎定之（テノール）没
	1949年4月16日		関響、第1回大阪市文化賞受賞
	1949年4月18・19日	第306回定期公演でマーラー《交響曲第2番》を日本初演。指揮山田和男。独唱三宅春恵、四家文子	
	1949年5月6日		橋本国彦（作曲）没
	1949年5月20日～7月8日		ピカデリー劇場（邦楽座、2月英軍から返還）でアメリカ興行システムによる第1回実験劇場、俳優座《フィガロの結婚》上演
	1949年5月22日		ハンス・プフィツナー（作曲）没
1949年5月31日		東京音楽学校、東京美術学校と合併し、東京芸術大学として新発足	
1949年6月11日	聖フランシスコ・ザヴィエル400年祭記念演奏会		
1949年7月20日	『NHKシンフォニー・ホール』放送開始（『日響演奏会』を改称）		
1949年8月27日		上村松園（日本画）没	
1949年10月1日		毛沢東、中華人民共和国と中央人民政府成立を宣言	
1949年10月7日		ドイツ民主共和国（東独）成立	
1949年10月15日	ショパン没後100年記念、安川加寿子ピアノ連続演奏会第4回に出演		
1949年11月3日		スウェーデン・アカデミー、湯川秀樹にノーベル物理学賞授与と発表	
1949年11月19日	現代アメリカ音楽演奏会。コーブランド、トムソン、ケナン、ガーシュウインの作品を演奏。指揮山田和男。独奏吉田雅夫		
1949年11月24日		関西勤労者音楽協議会発会式。翌年8月15日大阪労音と改称	
1949年11月29日		第1回毎日音楽賞受賞者決まる	

	N 響	社会・音楽界
1950 昭和25年	1949年12月2～7日	藤原歌劇団、チャイコフスキー《エフゲーニ・オネーギン》日本初演
	1949年12月8・9日	第312回定期公演。ゲーテ生誕200年記念としてマラー 《交響曲第8番》を日本初演。指揮山田和男。独唱石田栄、柴田喜代子、佐々木成子、川崎静子、園田誠一、中山悌一、秋本雅一郎
	1949年12月10日	放送芸能祭参加番組に入賞、日本放送協会会長賞受賞
	1949年12月26日	文部省芸術祭に貢献し、文部大臣の感謝状を受ける
	1950年1月1日	
	1950年1月6日	マッカーサー、年頭の辞で日本国憲法は自己防衛の権利を否定せずと声明
	1950年1月17日	コミンフォルム機関誌、日本共産党指導者野坂参三の平和革命論を批判
	1950年1月17日	宝響、プロコフィエフ《交響曲第5番》を日本初演。指揮上田仁
	1950年2月4日	波多野精一（哲学史）没
	1950年3月1日	藤田嗣治渡仏。1955（昭和30）年2月26日フランスに帰化
	1950年3月15日	従来15割の入場税を、オペラ10割、純音楽4割に引下げ
		メノッティ《演事》ニューヨークで世界初演（3月1日試演）
	1950年3月21日	NHK放送25周年記念演奏会。塚谷晃弘《祭典》、高田信一《交響的2楽章》、團伊玖磨《交響曲イ長調》、芥川也寸志《弦楽のための交響曲》を演奏。指揮近衛秀麿
	1950年3月21日	第1回NHK放送文化賞、山田耕伴、宮城道雄が受賞
	1950年3月21日	NHK放送25周年記念懸賞募集管弦楽曲入選作品発表。特賞芥川也寸志、團伊玖磨、佳作高田信一、塚谷晃弘
	1950年4月	東京芸術大学に邦楽科設置
	1950年4月3日	関西交響楽協会創立
	1950年5月3日	松浦豊明第1回ピアノ独奏会
	1950年5月3日	吉田首相、東大総長南原繁の全面講和論を「曲学阿世」と非難。5月6日、南原、学問への権力的強圧と反論
1950年5月12日	バッハ没後200年記念演奏会（6月23・24日、10月17日、11月10・11日にも開催）	
1950年5月22日	現代アメリカ音楽演奏会。トムソン、コーブランド、ハンソンの作品を演奏。指揮山田和男	
1950年6月23日	箕作秋吉《芭蕉紀行集》、第24回国際現代音楽祭（ブリュッセル）で入選	
1950年6月25日	南北朝鮮軍全面的な戦争状態に入る	
1950年6月30日	吉田晴風（尺八）没	
1950年8月24日	田中希代子バリ音楽院入学のため渡仏（戦後第1回の日仏交換学生）	
1950年9月	9月号から『音楽雑誌フィルハーモニー』を『フィルハーモニー』と改題、引き続き一般発売。1957（昭和32）年4月号から一般発売を停止し、定期会員に無料配布	
1950年10月		
1950年10月2日	山田耕伴作曲生活50年記念演奏会。《明治頌歌》、歌劇《夜明け》抜粋を演奏。指揮近衛秀麿、山田耕伴	
1950年10月26・27日	第320回定期公演に戦後初の来日外国人演奏家ラザール・レヴィを迎える	
1950年10月28日		
1950年11月1日	この年芸術祭管弦楽曲に入選した清水脩《インド旋律による4楽章》を放送。指揮尾高尚忠	
1950年11月16日	芸術祭公演において黛敏郎《交響的気分、スフィンクス》初演。指揮尾高尚忠	
1950年12月15日		
1950年12月22日		
1951 昭和26年	1951年1月1日	藤原歌劇団、グノー《ファウスト》日本初演
	1951年1月3日	ウォルター・ダムロッシュ（指揮）没
	1951年1月3日	北朝鮮、中国軍、38度線を越えて南下。1月4日国連軍ソウルを撤退。3月7日ソウルを奪回
		NHK第1回『紅白歌合戦』（スタジオ）放送
		歌舞伎座復興開場式
	1951年1月19日	宝響、バルトーク《ピアノ協奏曲第3番》を日本初演。指揮上田仁。独奏井口基成
	1951年2月13日	国際現代音楽協会日本支部音楽会、黛敏郎、清瀬保二、芥川也寸志らの作品を演奏
	1951年2月14日	黛敏郎《スフェノグラム》、第25回国際現代音楽協会音楽祭に入選
	1951年2月16日	尾高尚忠（1911年＝明治44年9月26日生）、東大病院で死去。19日青山斎場で楽団葬
	1951年3月5日	尾高尚忠追悼演奏会
	1951年3月15・16日	第325回定期公演でカバレフスキー組曲《道化師》を日本初演。指揮山田和男
	1951年3月21日	
	1951年3月22日	ウィレム・メンゲルベルク（指揮）没
	1951年3月22日	第2回NHK放送文化賞、堀内敬三、町田嘉章が受賞
	1951年3月30日	ヴェルディ没後50年記念、歌劇《オテロ》を演奏会形式で日本初演 前年10月東宝から独立した宝響、東京交響楽団（東響）と改称、歌舞伎座で披露演奏会
	1951年4月	日本最初のLPLレコード、ベートーヴェン《交響曲第9番》、コロムビアから発売
	1951年4月11日	国連軍最高司令官マッカーサー罷免される。16日離日。都民20万人見送る
	1951年5月2日	クロイツァー滞日20年記念連続ピアノ演奏会第1回
	1951年5月23日～6月28日	ジョセフ・ローゼンストックを再びアメリカから迎える
1951年5月27～29日、6月14～16日	第327回、第328回定期公演を特に3日間ずつ行う。指揮はいずれもローゼンストック	
1951年6月4日		
1951年6月25～27日	ローゼンストック告別演奏会	
1951年7月10日		
1951年7月13日	セルгей・クーセヴィツキー（指揮）没	
	中根宏（音楽評論）没	
	アルノルト・シェーンベルク（作曲）没	

	N 響	社会・音楽界
	1953年9月23・24日	第349回定期公演にアイザック・スターンを迎える。10月28日スターン演奏会に出演
	1953年10月9日	フランスからジャン・マルティノンを客演指揮者に招聘。東京のほか大阪、京都、名古屋で指揮（12月10日離日）
	1953年10月14日	共産党書記長徳田球一北京で客死
	1953年10月24日	東京労音結成第1回例会
	1953年10月30日	本団の育成に功績があったレオニード・クロイツァー死去
	1953年10月30日	二期会、ヴェルディ《オテロ》日本初演
	1953年11月1日	諸井誠《管弦楽のためのコンポジション》NHKから放送。この年の芸術祭賞を受賞
	1953年11月19日	間宮芳生、林光、外山雄三による「山羊の会」第1回作品発表会
	1953年11月23日	林光《交響曲ト調》東響によりラジオ東京から放送。芸術祭賞を受賞する
	1953年11月27日	黛敏郎《ミュージック・コンクレートのための作品XYZ》ラモール室内楽団により文化放送から放送
	1953年12月8・9日	ジャン・マルティノン告別演奏会。ベートーヴェン《交響曲第9番》
	1953年12月10日	東響、プロコフィエフ《交響曲第7番》日本初演。指揮上田仁
	1953年12月15日	平尾貴四男（作曲）没
	1953年12月17日	ショスタコーヴィチ《交響曲第10番》レニングラードで世界初演
	1953年12月22日	加藤道夫自殺
	1954年1月7日	アイゼンハワー、一般教書を発表、沖縄の米軍基地は無期限に保持と表明
	1954年1月21日	米原子力潜水艦ノーチラス号進水
	1954年1月26日	團伊玖磨、芥川也寸志、黛敏郎による「3人の会」第1回交響作品演奏会
	1954年1月31日	田中路子20年ぶりに欧州から帰国、帝劇ミュージカル《蝶々さん》に出演
	1954年3月1日	NHK大阪・名古屋テレビ局開局
	1954年3月1日	第5福竜丸、ビキニの米水爆実験により被災。3月14日静岡県焼津に帰港
	1954年3月5日	岸田国土（劇作家）、《どん底》演出中倒れ没
	1954年3月14日	藤原歌劇団、米国からの帰国公演としてマスネ《マノン》日本初演
	1954年3月14日	松平頼則《催馬楽によるメタモルフォーゼ》第28回国際現代音楽協会音楽祭に入選
	1954年4月2日	ドイツからヘルベルト・フォン・カラヤンを客演指揮者に招聘。東京のほか大阪、京都、名古屋で指揮、13回公演。5月12日離日
	1954年4月4日	トスカニーニ、カーネギー・ホールでNBC交響楽団を指揮。以後引退声明
	1954年4月18日	23年ぶりに3度目の来日をしたハイフェッツ、ヴァイオリン独奏会
	1954年4月20日	東芝、グラモフォン課新設。翌年9月エンジェル・レコード発売
	1954年5月16日	クレメンス・クラウス（指揮）没
	1954年6月5日	大町陽一郎、近衛管弦楽団を指揮してデビュー
	1954年7月19日	クルト・ウェス告別演奏会。8月14日ウェス離日
	1954年8月1日	『フィルハーモニー』の編集・発行を委託した名曲堂との5か年の契約満了、業務をN響事務所に移管
	1954年8月27日	スイスからニクラウス・エッシュバッハーを常任指揮者に招聘。1956（昭和31）年3月18日離日
	1954年9月21日	斎田愛子（アルト）没
	1954年10月12・13日	第360回定期公演に再びウィルヘルム・ケンプを迎える。この回コダーイ《ガランタ舞曲》を日本初演
	1954年10月19日	日比谷公会堂開設25周年記念演奏会に出演
	1954年10月31日	三善晃《ピアノと管弦楽のための協奏交響曲》をNHKから放送。翌年3月15〜17日第365回定期公演でステージ初演。指揮ニクラウス・エッシュバッハー。独奏高良芳枝。この作品は本年度の尾高賞を受賞
	1954年10月31日	二期会、モーツァルト《コシ・ファン・トゥッテ》日本初演
	1954年11月4日	清水脩《修禅寺物語》大阪で初演
	1954年11月6日	グルリット・オペラ協会、ムソルグスキー《ボリス・ゴドノフ》日本初演
	1954年11月16・17日	第361回定期公演にビエール・フルニエを迎える。11月20日特別演奏会
	1954年11月27日	鈴木秀太郎第1回ヴァイオリン独奏会
	1954年11月30日	ウィルヘルム・フルトヴェングラー（指揮）没
	1954年12月7日	東響、ショスタコーヴィチ《交響曲第10番》日本初演。指揮上田仁
	1954年12月7・8日	第362回定期公演でデュカスバレエ音楽《ペリ》を日本初演
	1954年12月9日	東響第66回定期公演。黛敏郎《電気楽器のためのエクストラスム》、バーンスタイン《交響曲第2番》日本初演
	1955年1月1日	米国、南ベトナム、カンボジア、ラオスへの直接援助を開始
	1955年1月14・15・17日	第363回定期公演でマルタン《7つの管楽器およびオーケストラのための協奏曲》を日本初演。この回より定期公演が3日間となる
	1955年1月15日	四家文子オペラ・グループ第1回公演。《カルメン》
	1955年1月27日	文化財保護委員会、重要無形文化財技術指定制度第1次指定を内定。2月15日告示（喜多六平多、豊竹山城少掾ほか）。11月2日宮内庁雅楽部も指定
	1955年1月29日	「日本モーツァルト協会」結成
	1955年2月6日	米第7艦隊台湾海峡に集結
	1955年3月18日	ダヴィド・オイストラフ送別演奏会に出演
	1955年3月22日	放送事業に協力、音楽文化の向上に貢献した理由により、日本放送協会会長の表彰状を受ける
	1955年3月25日	テノール歌手ジーリ、英国での出演を最後に65歳で引退
	1955年3月26日	藤原義江第6回NHK放送文化賞受賞
	1955年3月31日	文部省企画映画『オーケストラの楽器』の製作に協力した理由により文部大臣の感謝状を受ける

1954

昭和29年

1955

昭和30年

1955年4月1日		桐朋学園音楽短期大学開校。学長井口基成。1961（昭和36）年4月、4年制大学となる
1955年4月1日		ラジオ東京、テレビ開局
1955年5月3日		シンフォニー・オブ・ジ・エア（元NBC交響楽団）来日初演奏
1955年5月14・17・18日	第367回定期公演でオルフ《カルミナ・ブラーナ》を日本初演	
1955年5月23日	後楽園スタジアムにおいてシンフォニー・オブ・ジ・エアと合同演奏。指揮ソア・ジョンソン、ワルター・ヘンドル	
1955年6月15～17日	第368回定期公演でR. リーバーマン《フリオーソ》を日本初演	
1955年6月22日		最高裁判所、三鷹事件に判決。東京高裁の竹内被告死刑判決支持
1955年7月4日		池内友次郎と門下生により作曲家グループ「深新会」結成
1955年8月7日		東通エトランジスタラジオを初発売
1955年9月13～15日	第369回定期公演でスメタナ《売られた花嫁》を日本初演。定期公演におけるオペラの舞台上演はこれが初めて。16・18日特別演奏会。20日～22日都民劇場音楽サークル第30回定期公演に出演	
1955年10月8日	アンドレ・コステラネッツを指揮者に迎え臨時演奏会を開催	
1955年10月15日		早坂文雄（作曲）没
1955年10月26日		グルリット・オペラ協会、マスネ《ウェルテル》日本初演
1955年11月2日		グルリット、来日以来のオペラ運動の功績により勲4等瑞宝章を授与される
1955年11月5日		ウィーン国立歌劇場再建
1955年11月17～19日	第371回定期公演で林光《管弦楽のための変奏曲》を初演。この作品は翌年尾高賞を受賞	
1955年11月27日		アルテュール・オネゲル（作曲）没
1955年12月9日		西独政府、東独を承認する国家とは外交関係を持たずと表明
1955年12月15日	NHK芸術祭参加管弦楽曲懸賞募集入選の石井五郎、端山貢明、川崎優の作品を演奏	
1955年12月18日		ヴェルディ《トロヴァトーレ》日本初演
1955年12月20日		関鑑子国際スターリン平和賞受賞
1955年12月21日		ウィーン少年合唱団NHKに出演。12月22日演奏会